

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	尚 爾華	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「健康管理のスペシャリストを目指すⅢ」 将来は企業や自治体、家庭において健康を守るスペシャリストとしてのスキルを高め、その知識をわかりやすく説明できることを目指す。本ゼミでは専門演習Ⅰ・Ⅱで得られたデータをもとに各自でテーマに沿ってプレゼンテーションを実施し、発表のスキルを高める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面授業。3回程度メディア授業を行う予定。グループワークとプレゼンテーションを実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	ゼミ活動の内容、ゼミの進め方について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	専門演習Ⅰ・Ⅱの振り返り	専門演習Ⅰ・Ⅱ振り返る。成果と反省点を話し合う。	<input type="checkbox"/>
第3回	プレゼンテーションの形式を練習。確認	プレゼンテーションの数種類の形式を学び、各グループ内で練習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	プレゼンテーションの形式を決める。機器や備品の確保	各自でプレゼンテーションの形式を決め、利用可能な機器や備品を確保する。	<input type="checkbox"/>
第5回	プレゼンテーションの参考資料の収集	教員が提示するプレゼンテーションの模範例を参考し、各自で参考資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	プレゼンテーションの全体の構成を決める	専門演習Ⅰ・Ⅱの調査研究と関連させた内容をプレゼンテーションのテーマとして、全体構成を決める。	<input type="checkbox"/>
第7回	プレゼンテーションの内容を作成する①	プレゼンテーションの内容を各自で作成する。	<input type="checkbox"/>
第8回	プレゼンテーションの内容を作成する②	プレゼンテーション内容を各自で作成する。	<input type="checkbox"/>
第9回	推進状況の中間報告会	各グループは中間報告会で各自の推進状況を報告する。	<input type="checkbox"/>
第10回	プレゼンテーションの内容を作成する③	プレゼンテーションの内容を作成する	<input type="checkbox"/>
第11回	プレゼンテーション概要版を提出する。	プレゼンテーションの概要版を提出し、教員の確認を受ける	<input type="checkbox"/>
第12回	教員の意見を参考し、プレゼンテーションの内容を修正する。	教員のコメントに基づき、プレゼンテーションの内容を修正する。	<input type="checkbox"/>
第13回	プレゼンテーションの内容を最終提出する。	プレゼンテーションの内容を完成させ、提出する。	<input type="checkbox"/>
第14回	最終報告会_プレゼンテーション	各グループからプレゼンテーションを行い、グループ間で質問応答・ディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体を振りかえって、後期の予習内容をする。	全体を振りかえる。後期の卒業論文の作成について連絡と確認をする。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に配布資料やインターネットで授業テーマと内容を予習し(2時間程度)、授業後に課題レポートを作成する(2時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポート・練習問題は翌週フィードバックし、解説とともに解答例を提示し、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	健康増進に関する問題意識を持ち、一般住民の健康増進についてプレゼンテーションができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	0%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内課題とレポートを平常点として採点する。

■テキスト (Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		